



柳田の里

八王子市立柳田中学校

令和8年7月6日

学校だより No.3

〔教育目標〕 ○進んで学習する人になろう ○仕事に精を出す人になろう ○心身ともに健康で思いやりのある人になろう

柳田中学校の特別支援学級(Ⅰ組)と特別支援教室(アシスト)

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本校には「特別支援学級(Ⅰ組)」と「特別支援教室(アシスト)」が設置されています。「なぜ中学校に必要なのだろう」と感じられている方もいらっしゃるかもしれません。今回は、中学校における特別支援教育の役割と、それが学校全体にとってなぜ不可欠であるのかについてお伝えいたします。

一つ目は、集団での学びに困り感がある場合には、生徒の自立に向けた個別最適な学びの場が必要だからです。中学校は義務教育の総仕上げの時期であり、将来の社会的自立に向けた土台を作る大切な3年間です。子どもたちの「得意なこと」や「苦手なこと」、「つまずきやすいポイント」は一人ひとり大きく異なります。そして、Ⅰ組では、少人数の環境を活かし、学年や学習の進度に縛られず、子どもの理解度や生徒それぞれの特性に合わせて対応することができます。生活上の困りごとを自分で解決できるか(自立活動)をじっくりと学ぶためにも、この専門的な空間がどうしても必要となります。文部科学省の調査(令和4年度)では、特別支援学級に在籍する生徒の約8割が「授業がわかりやすくなった」「自分のペースで学べる」と答えています。一方、アシストでは“苦手”や“心配”に対処する方法を教わりたい、直したり克服したりするトレーニングを受けたい、手助けをして欲しいという生徒が通常学級に在籍しながら週に1、2時間通う教室で、在籍学級担任・保護者と共に、連携を図りながら多くの大人の手で子どもたちを育てていこうと考えている教室です。特別支援教室を活用した結果、生徒自身の「得意・苦手」の特性を客観的に学び、適切な対処法を自ら選択できる能力が向上します。また、「認められる体験」を重ねることで、学級満足度や学校適応感が大きく上昇し、利用している生徒自身も「特別支援教室に通うことで、自分自身が良い方向に変わった」という変化を自覚することができます。

二つ目は、無理なく力を発揮できる「安心できる心の居場所」が必要だからです。思春期を迎える中学生の時期は、心も体も大きく変化し、人間関係の悩みも複雑になります。集団生活の中で強い不安を感じたり、周囲のペースに合わせることに過度なエネルギーを使い果たしてしまったりする生徒も少なくありません。エネルギーが切れてしまう前に「ここなら安心して失敗できる」「自分のペースで話せる」と思える心の安全基地が必要です。確かな居場所があるからこそ、生徒たちは自信を取り戻し、学校生活を前向きに送ることができます。特別支援学級や特別支援教室で学んだ生徒は通常学級の場合よりも、自己肯定感が高まりやすいという国立特別支援教育総合研究所の研究成果もあります。



三つ目は、通常学級との「豊かな交流」が、全校生徒の心を育てます。I組では生徒の状況に応じて通常学級と行事、部活動、給食の時間を共に過ごしたりする「交流及び共同学習」を大切にしています。世の中には様々な特性やバックグラウンドをもつ人が生きています。中学生のうちから日常的に多様な仲間と関わり、「どうすればお互いに心地よく過ごせるか」を自然に考え、手助けし合う経験は、通常学級の生徒にとっても「思いやりの心」や「多様性を認める力」を育む何よりの学びとなります。I組やアシストは、一部の生徒だけのための特別な場所ではありません。すべての生徒が「自分らしく、安心して学べる学校」を作るための、いわば学校全体の温かさのシンボルです。



現在、お子さんが学習面で通常学級での生活に大きなストレスを感じている場合や、周囲との関係構築に不安がある場合は、「居心地の良い環境」や「力を発揮できる場所」として、ぜひ、ご活用ください。どちらも栢田中学校に設置されていることから、希望される場合はいつでも体験可能です。また、アシスト教室で放課後の時間に活動している「脳トレ研究部」についても体験ができます。

保護者の皆様におかれましては、今後ともお子さんの温かい見守りと応援をよろしくお願いいたします。

不登校をテーマとした保護者サロン

教育委員会では不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。講演の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みを語り合う時間も予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

1. 対 象 市内在住・在学の小・中学生の保護者
2. 日 時 令和8年8月24日(月) 午前10時から午後12時30分
3. 会 場 八王子市若者総合相談センター
(八王子市東町3-10 山善ビル4階)
4. 内 容 講演 「不登校の子どもたちの義務教育終了後の進路」
講師 八王子市スクールソーシャルワーカー

5. 定 員 40名(先着順)

6. 受付開始日 令和8年8月1日(土)

こちらの2次元コードからお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/iapr/1667983>



7. その他

会場に駐車スペースはありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

8. 問合せ

高尾山学園内 教育指導課登校支援担当電話：663-3216

共催 学校教育部教育指導課／子ども家庭部青少年若者課

(八王子市若者総合相談センター)